

経営健全化方針に基づく取組状況（令和元年度）

○法人名

坂城町土地開発公社

○経営健全化方針を策定した理由

平成29年度の債務保証等の対象となっている保有期間が5年以上の土地の簿価総額が、町の標準財政規模に対して10%を上回ったため策定した。

○財政的リスクの状況

（単位：千円）

	平成29年度 決 算	平成30年度 決 算	令和元年度 見 込	目標達成年度 (令和5年度)
債務保証等の対象となっている 保有期間が5年以上の土地 (簿価総額) (A)	503,287	456,886	420,365	340,180
損失補償、債務保証及び 短期貸付の合計 (B)	612,633	719,181	769,783	314,347
坂城町標準財政規模 (C)	4,231,339	4,275,410	4,296,585	—
(A) / (C) (%)	11.9%	10.7%	9.8%	10%未満
(B) / (C) (%)	14.5%	16.8%	17.9%	15%未満

○主な取組状況（令和2年2月末現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

公社所有の住宅用地の売却益について、借入償還金に充て債務保証額の圧縮に努めた。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

坂城町土地開発公社経営健全化方針（期間：令和元年度から令和5年度）に基づき、町が土地開発公社から保有土地の買戻しを行った。
坂城町土地開発公社経営健全化委員会を開催し、進捗管理、検証、保有土地の有効活用などの検討をした。